

へんたいの報告

労働者学園を卒業した、同じ仲間であるN君がS会社による不当な首切りに対して今斗っています。首切りを撤回させること、そしてS会社の労働組合を益くしていくこと、この目標にむかって困難な斗いに、今いっしょうけんめい取りくんでいます。彼がSの労働者にくばったピラを、次に紹介します。

No. 6
会社はなぜ組合を恐れるのか。

S会社 全職場のみなさん。

みなさん。会社は勝手に、ぼくを首切ったといっています。自分自身はまだ、みなさんと同じSのゆらく仲間だと考えています。

会社のいう首切り理由は、不当で、まるでたうめです。

会社は、ぼくたち労働者をバカにして、調子にのってぼくの首を切ってきたのですが、首切り理由がでたらめで、組合員みんなの前では通用しないと気付き、今とってでもあわてています。

そして、まったくまとはずれの、共産党の宣

伝のよすはペンアをみなさんに配りはじめたのです。

みなさん、会社は今バカみたいに職場でのシメツケをさびしくし、あたかも一介だつて透ばせ人ぞろいといいたげです。この事實は、すくなくともみんなが聞いていた考え方、へん役連中でも、A一派の人はでたらめだか、B一派の人たちは、その点おれたちの苦しい気持を理二解してくれる人たちだをぶちこわしつつあります。

みなさん、A一派もB一派も本当はありませんが、ただはっさりしていることは、会社が今、組合破壊の一連の攻撃をかけてきているということだけです。配転、首切り、どうかつーこれらの真体的事實は、自分たちゆらく者の生活と権利を守るためには、会社と日常不断に斗い続けていくより他にはしかたない、といった科学的真実をぼくたちの前に明らかにしています。

会社は、労働組合が強くなるのを恐れ、とにかく、ぼくがなんでもぼくたちゆらく者をバラくにさせておこうとしているのです。

みなさん。

職場委員選挙には、みんなの苦しい生活を勇敢

に代表してくれる。コンジョウモンを避ぼう！
生活と権利を守りぬくため手をつなごう！

一九六六・十一月 四 第三機組工場 N

No.16
会社は下らぬ心配すまじり

心よく三ヶ月分支払うのにあたまを使え

一時金斗争に入つたS会社のみなさん。お早ま
うございませう。

会社は、「外部の者がピラを門前まで」と調子
のいいことを言っています。へんは首切りを
認めていません。

会社は今、皆さんの手に運日ピラが手渡たさ
れるのを怖れて、アカだなどというお決まりのバカ
毎朝ピラをとりあげ、へんは従業員を動揺させる
お見えすいた宣伝を行うのに一生けん命です。

労働者が、自分たちの生活を守るために、会社
の前近代的なおどかしなどによる労働者支配に反
対したり、討議したり、屈結すること——これ
らのことが会社に言わせると従業員を動揺させた
り、アカだたりすることなのです。

もし会社が、自分のやり方に自信があるのなら

ピラに書かれてあるへ毎月の借金のことへ物
の上昇のことへ夜遅くまでの辛い残業のことへ
へ借入金と重労働を足台に、会社は肥えふとつて
いることへだからへ一時金三ヶ月要求は全く正当
で、ほんのささやかなものに過ぎないということ
にちやんとみん前の前で、正ともな反論をすれば
よいでしょう。

会社の借目もあるそれらのことをしないで、た
だ一方的にピラを讀ませたいと強制的に取り上げ
たり、アカ攻撃で俺れたたちの要求の本質をはぐら
かすのは自分たちの腹黒さを精一杯押しかくそう
としてゐる証拠です。

会社がどんなに労働者をおどかしても、どんな
に労働者をデタラメな宣伝でまどわせようとして
も、労働者はいつかは必ずへ俺れたちにとつて何
が真実かを知り、立上ります。

これはどうしようもない科学的真実なのです。
だから会社は「労働者が革命——」などという全く
ムカけた余計な心配をするヒマがあるのなら、俺
れたちの要求である「一時金三ヶ月を心良く支払うの
にまず頭を使うこと」です。

一九六六・十一月 三 労働組合を強くする会

るのか。
五期生

横地忠五

- 一、六七年春、岡向問題点、聖堂者陣の合理化攻勢
- 二、六六年大中の賃金を勝ちとった、め反裏が予想される。
- 三、春、岡のトツバ、組織の合化、労働連が東洋高压の脱離により、組織の向題で、岡争を組みにくく、事
- 四、総送券をひかえて、いるため、エネルギーを集中出来な

取場報告

(那須労働組合の結成迄)

上坂道義

私の会社に組合が出来たのは先月の十月である。その日がう今日迄組合の行つて来た内容は例外に値する程のものではないが、ただ、事大阪支部連に關する限りは、内容を異にしている。

ここでその意外と感じた、あるいは永い組合活動の経験の有る人では別は別に驚きに値しない事柄であるかも知れない事に一寸と触れて、その後には、私が一人のリベラリストとして組合発足に關係を持ち、その中で私と共に勞働者としてこの事に接した状態を客観的にがいっまんて発表すること、します。

十月一日の組合成立後直ちに会社側に年末の一時金と十月調整金について要求し、他方で組合の團結について取り上げ行動を行つて来ました。そのあいだを謹んで、苦情処理委員会、副利厚生部に關する規定の取文化を急いでいました。一時金、調整金については組合発足後直ちに団交を行い、拒否された。改めて要求額を提示し、団交を行う予定にしてみました。(本部東京よりの連絡) そんなあわただしい活動のうち一方向的に十月人事

が発表され組合員全員、特に大阪支部組合員は、更然となった。組合発足後一ヶ月も水にならないうちに、しかも別に左翼的な活動は階目と云ふ状態のうちには大阪支部長を課長補佐に昇格、又、部長と自他共に認めていた者をも副長(課長と部長との間の地位)と云つた新しいポストを設け昇格させた。副長と云ふポストは全く不必要と思われ、課長補佐も現段階では、不合理なものであった。この人事に依り「組合とは何か」と云う根本問題すら知らない組合員は、増々組合の解散に不信を承たした。

執行部はこの人事に対して何う発言しなかつた。(最も支部長が苦悶?の人だから)その数日後、一時金、十月調整金は組合要求額に程近い額を決定した。一ヶ月遅れで、組合について多少知識有る人達はこの功妙な組合弾圧に對して一つの意志を決定したが以後の状況で空中分解の恐れが多分に有る。那須鉄組合はそれらの地域に支部を置いてゐる。即ち、会津工場、大阪支社、東京本社、東京大島工場、同じく砂町工場であるこの内大島工場は事情あつてホ一支部、ホニ支部と二つの支部を置いてゐる。

昭和三十九年七月砂町工場は単独で組合結成を固
りある程度準備を怠め、会社に組合結成の通達
した。会社側はこの時、いわゆる業績不振の為
周知の通り日本全口の景気後退時（結成はもう二
年程度遅らせる様に要望した。この解答を砂町の
人達は不幸にも認め、が組合について来る二年
間じっくりと勉強出来る條件に転換することによ
つて不満を解消した。この時から会社側は事なか
れ主義に撤し、労作者側はなれ合のまじりに陥りつ
た。東京でのそのような動きは大阪に知らされ、東
ホウ物としてさ、やがれていった。翌年大阪支社
に会社側の要求に依つて労働協成会が発足した。
但し、組合の発展段階の一つとしての条件で。
ここでも会社側は事なかれ主義のまんまに力を入
れ、労作者側は意識するしなやかに、わらざる水合
いまぎに全く陥りつた。是れから今年の三月頃迄
景気の向上を待ちつつ労作者も経営者の一人であ
るかのよ様な錯覚感を持ち続け、人の良いノ、労作者
として労働協成会を通じ経営者の云々まじりになつ
ていた。過去砂町で組合結成の有った事実を忘れ
て、そして今年の五月初旬、かつて砂町工場での
労働結成準備を進め、その後も組合についてこの程度

での指導的人物の配選取扱を本人に運達した。
労働協成会、三十九年の労働結成は尚早として二年
後に約した会社側はその約束を二ヶ月早く一才的
に破棄した。砂町工場のこれからの人達はどの数日
後単独で結成大会を開き労働結成を請成させた。
そして各地方の事業所に入会を募った。その時英
不東京本社と大島の一部の者は賛同した。大阪の
場合この時労働協成会を二年度を向え労作者は互い
に事なかれ主義と各れ合のまじりの結果組合の結成
はほとんどの方が忘れかけていた。景気消滅の状
態であった。砂町からの募集はこの協成会を通じ
て発表され早速それらの取場で意見の調整を行
った。結成として砂町の組合に各個人一人一人が入会
するのは反対であるが大阪が一つとし各伴するの
であれば賛成と云う砂町方向に動いた。これからの
意見は年配者に多く加入する者とし若い者との同
意は好ましくないと考える者の意見であった。か
とに於てこの方針で砂町組合と交渉する事になつ
た。交渉の組織として、労働協成会が行い、実質
的行動は小委員会を設けた。この小委員会のメム
バーの一人として、若者の方から結成を早める意
見で立候補した。が五人の定員に立候補は私人

と云う状態であつた。大阪支社の労働者がかゝる
時々は然性の認識不足なのに驚きの目をみはつた。
。このよつな事で組合結成と云う労働者にとつて
了史的重大な事件にいつてさへも、誰かの目を氣
にし氣げんを失わないうつに負を配り会社側の一
つ一つの了解を得て後にと云つた状態だつた。
當然労働者は会社から承認され与えられて、望心
の素材？で組合に接した感があつた。

大阪支社のとれぐしの者が真個に組合の結成につ
つて日夜討論した事はなく、しかも組合の認識
すのも満足でない多くの労働者がその活動につ
て執行部まかせになるのは必然であつた。支那組合
役員は、支那執行部に、支那は本部にと何か他力
本願的傾向になり未達の組合員は以前と別に變化
のない意識を持続し、組合が實質的な動きを取ら
うとする時、絶えず何か不安が付きまとうのはこ
うした事情によつてゐる。否、批評はしても行動
はしないと云ふ奴水の根性にさへ以て来る。

半面、以前は会社が事なかれ主義であつたのが、
組合員の方にその思想が移動して来た。このよつ
に組合にいつての實質的な面での認識不足で組合
事務に當つたものは当然階級意識は未整理のまゝ

であつた。
私はこれゆゑあまりにも未整理(私も含めて)な組
合に付してとても續める氣になれないがそれとは
反対に私自信の認識不足にいつて非常につうさを
感じ仕舞です。

那須鉄大阪支那が本當のいはずれに近い組合
の姿を見せるのはまだくすいびんと先の事とな
るだらう。現在青年部を中心にしてとれぐりの活動
が活発化するよう努力してゐます。

編集後期

ワタリ!

それは、創造と実行の世界だ

俺達は読書会で学び、ワタリを發表の場とし

て場場がくばるうじゃないか。

なお、講師、その他の方の投稿歓迎します。

Takayuki, maki

CC. 11.24